



② スポーツ少年団

主な取組み	概要	運営主体	連携
全国大会出場激励金交付 各種表彰 本部交歓会	21団体5百余名の子ども登録があり、各種スポーツ活動を通じて、健全な心身の育成を行っている。全国大会出場激励金交付、優秀指導者表彰などで、競技力向上を図り、また、本部交歓会を通じ、各団体間の交流を図っている。	スポーツ少年団	市生涯学習振興課

今後の展開			ライフステージ
加入率の向上を図る。 ・各学校でスポーツ少年団の紹介やホームページなどで活動紹介など広報活動の推進 ・各団体間の交流の強化			学童期

③ クラブチーム

主な取組み	概要	運営主体	連携
小学校スクールの開催	特定非営利活動（NPO）法人下松スポーツクラブ・グランザ下松フットボールクラブ（FC）としてサッカーの技術向上を目指し、現在中学生を中心に47名で活動している。	グランザ下松	市生涯学習振興課

今後の展開			ライフステージ
加入数の向上を図る。 ・次の世代を考慮した指導、選手の育成 ・未来ある子どもたちの夢への挑戦へのサポート ・フェアプレー精神の啓発、遵守 ・規律、挨拶、協調性、向上心を持てる選手の育成（豊かな人間形成）			学童期 思春期

④ 健康教室・健康体操の普及

主な取組み	概要	運営主体	連携
健康体操教室 歩こう会事務局	保健部門と連携し、健康体操、歩こう運動など身近な運動への参加を促進するほか、指導者育成と合わせ健康・体力づくり運動を推進している。	各公民館 保健センター 歩こう会	市生涯学習振興課

今後の展開			ライフステージ
スポーツを通じた健康づくりの推進を図る。 ・生活習慣病の予防の推進 ・各公民館単位で様々なスポーツ・健康教室を開催することができるように指導者を発掘 ・参加者の多様なニーズに対応できるような企画立案 ・歩こう会メンバーの活性化対策として、中年期への参加働きかけ			中年期 高齢期





(5) 障害者スポーツの推進

障害者が自身の興味や関心に合わせてスポーツを楽しみ、交流ができるよう、各種大会を情報提供するほか、障害者団体やボランティアと連携を図りながら、障害者スポーツの推進に努めます。

① 障害者スポーツの普及

主な取組み	概要	運営主体	連携
周南3市ふれあいフェスタ 山口県障害者スポーツ大会 (キラリンピック)	スポーツやレクリエーションへの参加を促進するほか、障害者団体及びボランティアと連携し、スポーツやレクリエーションを推進している。	市福祉支援課	市身体障害者福祉厚生会 光市、周南市、 県障害者支援課

今後の展開	ライフステージ
ニーズに対応した障害者スポーツの多様な支援を図る。 ・障害のある人もない人もだれもが参加できるスポーツやレクリエーション活動の充実 ・障害者スポーツイベントなどの情報提供やボランティア参加を促進、並びに理解と関心の高揚	幼児期 学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期





2. 「観る」スポーツの推進

(1) 観るから学ぶ

多くの人にとって、スポーツを観ることはもっとも手軽なスポーツとの関わり方です。身近な大会の情報提供をしたり、総合型地域スポーツクラブ、地域の企業との連携を図り、トップアスリートの講演会や交流会を開催したりします。

① スポーツ見学

主な取組み	概要	運営主体	連携
地元大会の応援促進	下松市はソフトボールの中国大会の会場となっており、観戦できるほか、下松駅伝では、沿道に多くの市民が応援・見学を楽しみ、その数も増加している。また、スポーツ少年団などの試合には家族をはじめ多くの市民が応援している。	市生涯学習振興課	体育協会

今後の展開	ライフステージ
スポーツによる感動を数多く体験する。 ・地域で行われる各大会に関する情報をホームページなどで案内 ・ケーブルテレビなどを使った、市主催スポーツイベントの紹介	学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期

② 講演会・交流会

主な取組み	概要	運営主体	連携
トップアスリート派遣指導	プロスポーツ選手やアマチュアトップ選手の講演会や交流会を、総合型地域スポーツクラブや、地元の企業、社会活動団体の支援で行い、スポーツに感動する心を育てている。	総合型地域スポーツクラブ 市内企業 社会活動団体	市生涯学習振興課

今後の展開	ライフステージ
トップアスリートとの交流により、スポーツに対する関心を更に高める。 ・生のスポーツ、アスリートにふれる機会の増加 ・講演会、交流会の継続や、市内企業、社会活動団体との連携強化 ・スポーツ講演会、交流会の広報を強化	学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期





3. 「支える」スポーツの推進

(1) 人材で支える

スポーツの楽しさに気づかせ、積極的にスポーツを行う思いを育てたり、地域でスポーツ活動を活性化させたりしていくためには、その活動を支える指導者やボランティアが必要です。市民が幅広くスポーツに親しむ機会を提供するため、指導者の育成や資質向上に努めるとともに、活動の運営を支えるスタッフやボランティアの育成を図ります。

① ボランティア育成

主な取組み	概要	運営主体	連携
ボランティア育成	スポーツイベントがあるごとに、スポーツ推進委員などを通じてイベントを支えるボランティアを要請している。	市生涯学習振興課	スポーツ推進委員 ほか

今後の展開		ライフステージ
ボランティア登録制度の構築を図る。 ・ボランティア名簿整備 ・ボランティア研修、救急救命講習などを通じたボランティアの資質向上 ・ボランティア活動に参加できる情報提供体制の整備 ・ボランティアの専門性を活かした役割分担		青年期 中年期 高齢期

② 指導者育成・支援

主な取組み	概要	運営主体	連携
指導者育成・支援	指導者を育成するため、指導者研修や実技講習会などの充実を通じ、スポーツ推進委員などの資質向上などを促進している。	市生涯学習振興課	スポーツ推進委員

今後の展開		ライフステージ
指導者を発掘・育成する体制の構築を図る。 ・生涯学習活動の一環として、地域コミュニティの視点からスポーツ推進委員の選出方法の見直し及び後継者の発掘 ・スポーツ推進委員の専門性の強化 ・出前教室で運動の指導インストラクターとなる人材の発掘や育成の実施 ・次期指導者の育成		青年期 中年期 高齢期

③ キッズ運動教室支援

主な取組み	概要	運営主体	連携
キッズ運動教室	幼児期の運動神経の発達が、成長後の運動能力に大きくかわることが近年指摘されており、幼児に対する運動の重要性の啓発と指導が望まれている。	市生涯学習振興課	保育園 幼稚園

今後の展開		ライフステージ
幼児期の運動の大切さを広め実践していく。 ・各種運動教室の開催を幼稚園や保育所に促進 ・出前講座等で教諭や保育士に幼児の運動に関する情報提供や実技指導		幼児期





(2) 情報で支える

市民が知りたいときに、いつでもスポーツの情報が得られるよう、スポーツに関する情報提供を図ります。

① ITの活用

主な取組み	概要	運営主体	連携
ホームページ整備事業	スポーツイベント、スポーツ施設利用状況、スポーツ教室の案内などを、ホームページを利用して調べることができる。	市生涯学習振興課	スポーツ施設 学校 体育協会

今後の展開	ライフステージ
ホームページなどを活用した情報提供力の強化を図る。 ・より多くの伝達手段にイベント、教室などの情報の掲載 ・メールなどによるスポーツ関連情報の問合せができる体制の構築 ・県ホームページを通じて、他市町のスポーツ大会やスポーツ活動の補助金などの情報を入手しやすい体制の構築	青年期 中年期 高齢期

② 周知・広報の推進

主な取組み	概要	運営主体	連携
スポーツネット きらら発行	市の広報やスポーツネットきらら発行により、スポーツイベントや教室の情報を周知している。	市生涯学習振興課	スポーツ推進委員

今後の展開	ライフステージ
スポーツに関する情報の一元化を図る。 ・下松市のスポーツイベント、教室などの情報の幅広い収集、包括的な情報提供 ・ホームページ、紙媒体、掲示板を活用した、より効果的な周知、広報の実施 ・スポーツネットきららの継続発行（年3回）	青年期 中年期 高齢期

